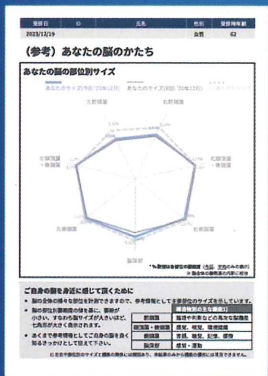
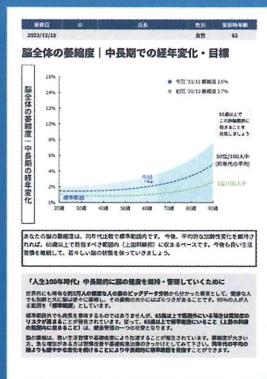
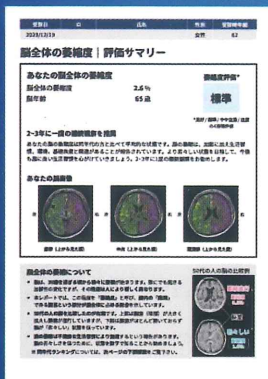


あなたも脳の健康管理、はじめてみませんか？

脳の萎縮と白い斑点は、誰にでも起きる加齢性変化です。しかし、年齢相応を過度に超えると、様々な疾病のリスクになります。脳の加齢性疾患の多くは一度発症すると治療が困難です。

だからこそ、未病における指標を使った脳の健康管理が大切です。MVisionは豊富なエビデンスとデータに基づいて、あなたの脳健康管理のお手伝いをします。

レポートサンプル



申し込み方法

本検査は脳ドックまたは頭部MRIの受診が必要です。脳ドックまたは人間ドック受診の際に、お申し込みください。

実施医療機関



東京慈恵会医科大学附属病院
新橋健診センター

☎ 0570-01-3701

検査料金 (税込)

MVision health | 9,900円

- 脳ドック | 42,460円
- 頭部MRI検査 | 33,660円

免責事項

本製品は医療機器ではありません。いずれの評価も疾病の判定ではなく、同年代の平均との大小比較の結果を示しています。脳MRIを用いた健診で医師の所見がつかれた方は、その指示に従ってください。所見がない場合、あなたの脳は正常です。

本製品に関するお問い合わせ

株式会社エム
MVision health 運営事務局
〒108-0073 東京都港区三田2-10-6
三田レオマビル10F
support@corporate-m.com



詳細はWebで www.corporate-m.com

エムビジョン・ヘルス



自分の脳の健康を 自らの手で管理する

ひら
MVisionが拓く
新しい脳の健康マネジメント



ご存知ですか？

✓ 脳の疾患は健康寿命を奪う最大要因です。

✓ 脳の加齢性変化は30代から始まり、生活習慣が大きな影響を及ぼします。

あなたは自分の脳の状態をご存知ですか？

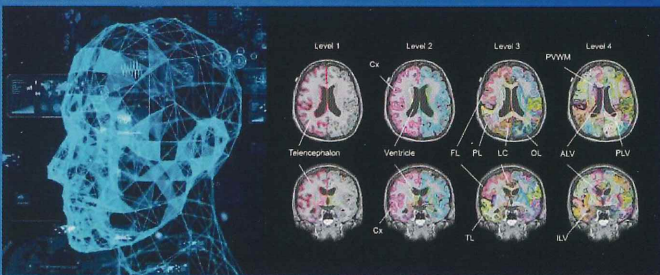
脳の健康管理は、認知症になってからでは遅いです。体温や体重で健康管理をするように脳の健康管理を始めてみませんか？

エムビジョン・ヘルス

MVision health

のなにが新しいのか

今までの脳ドックは医師の目視による脳の病気の早期発見を目的としていました。MVisionは最新のAI技術とビッグデータに基づき、あなたの脳の健康状態を数値化することにより、「病気になる前の脳の健康管理」という新しい世界を提供します。



MVisionとは

米国ジョンスホプキンス大*が開発したAI技術です。
(* U.S. News 「2023-2024 医学部ランキングー研究部門」 全米2位)

世界的にも貴重な3万件超の日本人の脳画像データに基づき脳健康状態を解釈します

エムビジョン・ヘルス

MVision health

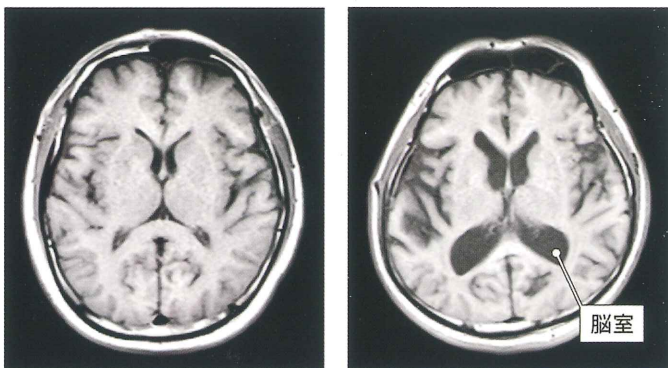
は何を見ているのか

私たちの脳は30歳を過ぎると徐々に変化していきます。この変化は遺伝や体質にもよりますが飲酒、喫煙、肥満、睡眠といった生活習慣に大きく影響されることが知られています。

脳の中で特に変化が大きい**脳の萎縮**と**脳の白質病変体積**の2つを数値で評価します。



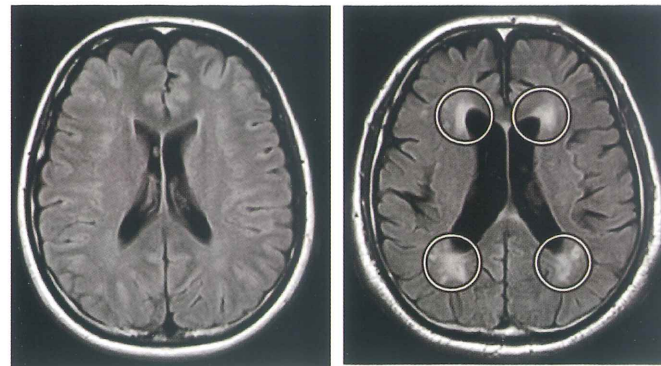
脳の萎縮



この2つの脳の画像は同じ50代の人のもので。右の人の脳画像は、中心にある暗いエリア（脳室という空洞部）が拡大しており、脳の萎縮が進んでいます。脳の萎縮は**脳の機能低下**や**将来の認知症発症**のリスク因子と知られています。

60歳を過ぎても30代並みの若々しい脳を保っている方の例も多くあり、加齢による萎縮の進み方は人によって大きく異なります。

白質病変



右の脳画像には白い斑点のようなエリアがあります。これは白質病変と呼ばれ、脳の血管の健康度の目安になると考えられます。加齢とともに現れる変化ですが、急速な増加は、**将来の認知症**や**脳梗塞**のリスク因子と知られています。

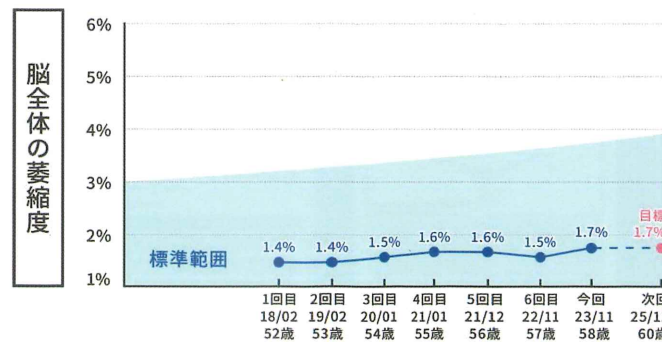
エムビジョン・ヘルス

MVision health

は脳の変化を数値化します

自分の脳がどのような状態にあるのかを知るの、脳の健康管理の最初のステップです。

健診の血液検査のように、**脳**の健康状態の推移を数値をもってモニタリングできるようになります。



MRI × AI で見える 将来のリスクと健康のヒント

30歳を過ぎると、脳は少しずつ変化していきます。でも、見た目ではわかりません。

MRIで撮影したあなたの脳をAIが解析。

脳の健康状態を「数値」で見える化します。

認知症や脳梗塞の予防にもつながる、新しい脳ケアの第一歩です。

頭部MRI実施者

MRI検査データ利用

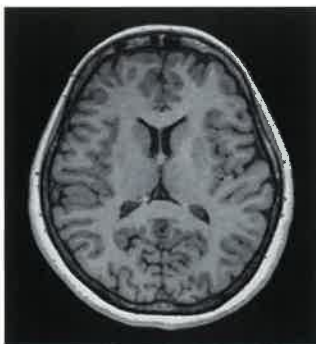
過去データも利用可

将来の認知症のリスクがわかる！

脳の萎縮

脳の萎縮は30代から始まる加齢変化です。認知機能の低下につながる可能性もあります。MRIで撮影したあなたの脳画像から萎縮度が分かります。同年代の平均と比較、生活習慣について考えてみましょう。

下記は、どちらも50代の画像です。



健康で若々しい脳
(萎縮度…1.6%)



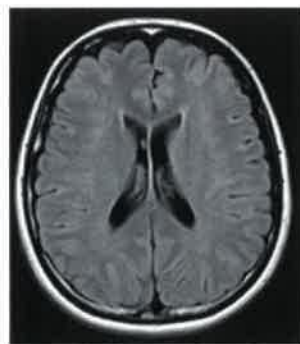
加齢で萎縮が進んだ脳
(萎縮度…6.1%)

将来の脳梗塞のリスクがわかる！

脳の血管の劣化

右の脳画像には白い斑点のようなエリアがあります。これは白質病変と呼ばれ、脳の血管の健康度の目安になると考えられます。加齢とともに現れる変化ですが中年期を過ぎるあたりから、その量は人により大きく異なってきます。

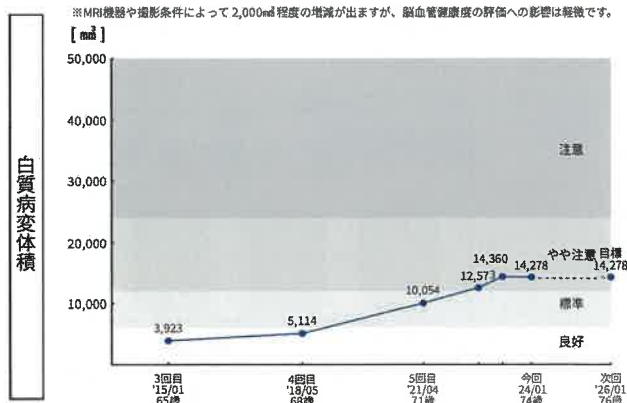
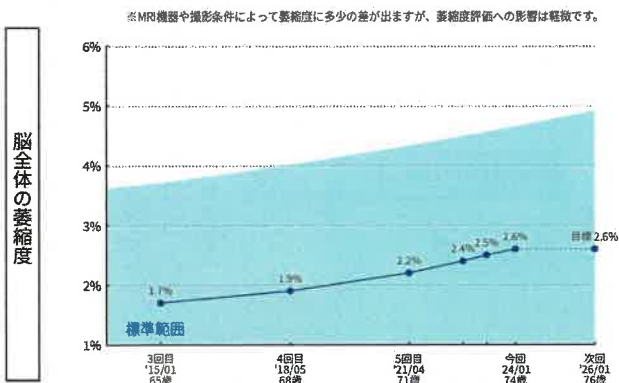
MVisionは、白質病変を数値で測ることができます。



白質病変(白い斑点)
少ない



白質病変(白い斑点)
多い



対象年齢 20歳～80歳

追加費用 ¥9,900-

あなたはどのタイプ？検査の選び方チャート

